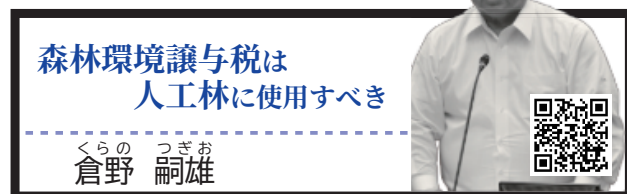


### 高梁国際ホテルについて

- Q** 市は高梁国際ホテルの所有者として現経営者との契約延長を3回続けてきたが、令和8年8月以降の契約はどうするのか。
- A** 現経営者から出された経営計画書は実行可能であると判断している。また、民間企業から外部人材による経営改善を3年間実施する方針であるため、契約も延長する考えである。
- Q** 市が所有し続けることが本当に最善なのか。期限を切った出口戦略を検討すべきではないか。
- A** 高梁国際ホテルはまちづくり、市民、観光客及びビジネス客にとって有用な都市施設である。まずは外部人材による経営改善を実施することが一番と考える。

### 教育行政について

- Q** 市の教育の「最大の課題」は何か。どう取り組んでいくのか。
- A** 人口減少・少子化による教育環境の持続可能性の低下を危惧している。人口減少の中でも、多様な学びを確保し、一人ひとりの力を最大限に引き出すための教育環境の維持、向上に今後も努める。
- Q** 教育長として、教育委員会の運営はどのようにリードしているのか。
- A** 教育行政の複雑化、多様化を感じている。教育委員会一つの所属だけで対応できる課題ばかりではなく、それぞれの専門性を生かし、各分野が連携しながら課題解決に取り組んでいく。チーム教育委員会として「至誠惻怛<sup>しせいそくだん</sup>」の志で運営していく。



### 森林環境譲与税について

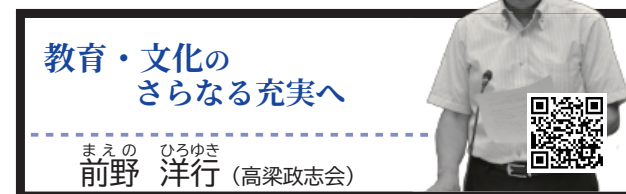
- Q** 市への森林環境譲与税の配分額はいくらか。
- A** 令和7年度は5527万円、令和6年度は5245万円である。
- Q** 木質バイオマス安定供給補給事業に2060万円の補助金が使われている。適正な事業なのか。
- A** 令和4年に市内業界団体から未利用材搬出等に関わる助成金の要望が出ている。広葉樹など天然林が8割を占める本市の森林整備の施策に合致しており、そのための財源として活用している。

### 工業団地について

- Q** 巨瀬町地内にある有漢工業団地関連造成事業が休止となっている。今後どうするのか。
- A** 現在は有漢工業団地二期分の工事が進んでいる。工事完成後に進出する事業者の事業内容によって、休止となっている巨瀬町の関連造成事業の展開を検討していく。
- Q** 利用することが見込めないならば、住宅地として活用してもよいのではないか。
- A** 市にとって定住対策は重要であると認識しているが、現段階では分譲宅地に変更するという方針は持っていない。方針変更の必要が生じた場合は分譲宅地造成も候補に含めて、あらゆる方策を検討していく。

### 観光施策について

- Q** 備中松山城周辺の支障木を伐採して、天守がより見えやすくするべきではないか。
- A** どういった形であれば備中松山城周辺の国有林が計画的に伐採できるのか、引き続き要望していく。



### 高梁市図書館について

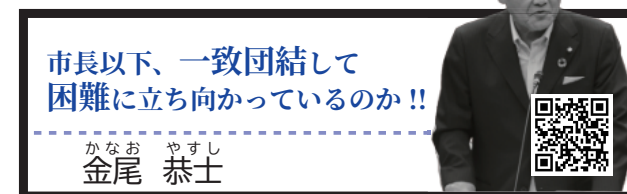
- Q** 令和9年2月に開館10周年を迎える高梁市図書館のこれまでの評価はどうか。
- A** 市民からの評価も高い施設であり、市長として、私自身も高く評価している。一方で、サービスの維持には財源的及び人的な裏付けが必要となる。今後の運営に向け、市と指定管理者がお互い、こういった努力をしていく必要があるのか協議を進めていきたい。

### やえがき 八重籬神社の石碑について

- Q** 碑文の内容について二次元コードの貼り付け等により解説できる仕組みはできないか。
- A** 碑文の内容の説明を充実させることは良いアイデアである。関係部署と協議する等、前向きに検討していきたい。

### 教育を通じたまちづくりの推進について

- Q** 令和7年5月に開催された「山田方谷150年祭記念フォーラム」において、宣言文が採択された。宣言文の骨子は「方谷先生の想いを形に」することで、その根底は教育であるといった趣旨であった。教育を通じて、まち全体に「学ぶ気風」があふれていることが重要であり、新たな教育理論や思想を打ち立て、教育活動を展開することが必要と考えるが、教育長の見解を問う。
- A** 市には、幼稚園・保育園から大学まで一貫した教育の環境があり、地域と一体となった学びが既に進行中である。今後、一貫教育の中で方谷先生の考えを活用する場を積極的に推奨し、夢と知恵と元気を持って進んでいきたい。



### 市の事務処理について

- Q** 市職員のコンプライアンス条例を早期に制定すべきではないか。
- A** 早い時期に方向性を整理し、条例制定に向けて取り組んでいきたい。
- Q** 京セラの元会長の伊藤謙介氏が「トップと職員がバクトルを合わせていくことが大切」と力説していた。市長は今後どうしようと考えているのか。
- A** 目配せがまだまだ欠けていると私自身が感じている。不適切な事務処理を絶対再発させないという、トップの熱量を現場に伝えていくことが不可欠である。
- R** リーダーシップをしっかりと発揮していただくことを期待している。

### デジタルにさらされている子どもたちの環境改善を!!

- Q** 過度なデジタルの使用が基礎学力の定着に影響を与えている。国立情報学研究所の新井紀子<sup>あらいのりこ</sup>氏がRST（Reading Skill Test）（文章を正しく読み解く力の試験）を50万人の子どもたち、社会人に実施している。市の子どもたちの弱いところはどこかを知ることが必要ではないか。
- A** 文章を読み取る力の低下は実感している。原因の究明と対処に取り組んでいきたい。



デジタル時代における教科書の重要性